

「外部との協働・協力」の検討について

各区ワークショップで整理された課題

- ・行政やコミ協同士、各団体との連携が取れていない。
- ・コミ協と自治会、他団体との関係や連携が明確ではない。
- ・地域内の他組織との連携が上手く行ってない。
- ・自治会長のコミ協に対する意識にばらつきがある。

各区ワークショップから出された主な支援策

- ・コミ協と行政が協働して事業を企画、実施する。
- ・基本計画（年間の活動計画）の情報を共有する。

- ・コミ協同士の生の意見を話し合う場を開催する。

- ・自治振興会とコミ協の連携を強化する。

○行政のコミ協支援体制の構築【26年度末まで】

【メリット】

ワーキンググループを立ち上げ、全庁的に幅広い支援策を展開できる。

【デメリット】

行政の関与が高まる。

○コミ協の連合組織立ち上げの呼びかけ【26年度末まで】

【メリット】

コミ協活動の活性化につながる。

【デメリット】

役員の負担が増える。

○自治会の連合組織との連携強化

【メリット】

地域における効率的な事業等が行える。地域の連携が一層強化される。

【デメリット】

役員の負担が増える。